

駅員さんの一日

このタイムスケジュールは一例です



出勤

駅は朝早くから夜遅くまで開いているため、駅員の勤務は早番・遅番などのシフト制になっています。また、一般的な会社員と同じような日勤勤務もあり、それぞれのシフトに合わせて出勤します。

呼吸チェック



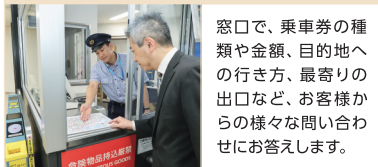
駅員はお客様の安全に関わる仕事であるため、酒気を帯びていないかの呼吸チェックを必ず行います。

出勤点呼



自分の健康状態を申告し、点呼執行者からその日の連絡事項や注意事項について伝達を受けます。

改札勤務



窓口で、乗車券の種類や金額、目的地への行き方、最寄りの出口など、お客様からの様々な問い合わせにお答えします。

昼食



お客様支援業務



車椅子をご利用のお客様や介助が必要なお客様のお手伝いをいたします。乗車駅と降車駅で互いに連絡を取り、スムーズに乗降できるようあらかじめ準備をしておきます。

お忘れ物対応



お忘れ物が届けられた際は、「お忘れ物検索システム」に登録し、お客様センターや、ほかの駅からも検索・確認できるようにします。

休憩



ホーム関係業務



ホームでお客様が安全に乗降できているか確認します。

駅事務室業務



ホーム関係業務



駅員の業務

改札（インフォメーションカウンター）でのご案内や精算、収入金管理など、また、ホームをはじめとする駅構内の安全管理や設備の点検など、駅の運営に関する業務を担当します。気持ちよく駅をご利用いただくために、お客様一人ひとりに寄り添ったサービスを提供します。

昔のおしごと



出札業務

自動券売機が登場する前は、窓口で駅員がお客様と対面し、お金を受けて乗車券を発行していました。



改札業務

自動改札機が登場する前は、改札ボックスに駅員が入り、ホームに向かうお客様から乗車券を受け取って鉄を入れてお返しし、出口に向かうお客様からは、乗車券を回収していました。当時のエピソードとして、ラッシュ時には絶え間なく入鉄するカチカチという音が駅構内の代名詞で、改札ボックスの中には、入鉄時に切り取られた券片が雪のように降り積もっていたそうです。